



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男 (TEL) 04-7192-6638
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,779	14.2	564	59.1	537	57.9	311	115.7
25年3月期第2四半期	6,814	4.3	354	55.1	340	65.8	144	44.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 456百万円(173.9%) 25年3月期第2四半期 166百万円(102.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	76.55	76.24
25年3月期第2四半期	35.49	35.45

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,115	53.2	7,706	53.2	7,706	53.2
25年3月期	14,089	50.8	7,320	50.8	7,320	50.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,504百万円 25年3月期 7,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の期末の配当金は50円00銭となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,340	8.1	1,070	25.1	1,030	22.6	610	37.6	149.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	4,372,704株	25年3月期	4,372,704株
26年3月期2Q	303,338株	25年3月期	303,338株
26年3月期2Q	4,069,366株	25年3月期2Q	4,069,437株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年5月15日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成25年9月13日付にて修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. なお、当社は平成25年11月22日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この決算説明会で配布予定の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧米財政問題や新興国経済の減速などの影響により、先行きに不安要素が残る状況で推移しましたが、政府の経済対策及び今後に対する期待感を背景に、株式相場の上昇基調や円安効果の進展が企業マインドの改善を後押しし、緩やかな景気回復の動きがみられました。当社グループが関連する建設市場におきましても、景気対策関連の公共投資の増勢や堅調な民間設備投資を背景に、市況改善の傾向が顕著となってきました。しかしながら一方では、建設資材の不足や人員不足等により、建設コストの上昇や工事の着工ペースに遅れが生じておりました。

このような状況のもと、当社グループでは、主力製品のあと施工アンカーの販売が堅調であったほか、太陽光発電市場向け製品の販売が好調に推移しました。また、利益面では、付加価値製品の販売を促進する一方で、営業経費等の販管費抑制に努めました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,779百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益564百万円（同59.1%増）、経常利益537百万円（同57.9%増）、四半期純利益は、311百万円（同115.7%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした堅調な再開発需要や維持保全需要の回復を受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーや引張確認試験機の販売が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,977百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益は413百万円（同13.3%増）となりました。

②リニューアル事業

太陽光関連ではメガソーラー物件の受注や公共投資の増勢により、中規模物件の引合いが伸長したほか、外壁補修関連製品が順調に推移しました。一方、FRPシート関連製品は前期まで続いた補助金制度による特需の反動減がありました。

この結果、当セグメントの売上高は1,549百万円（同32.0%増）、セグメント利益は139百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

③センサー事業

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移したほか、アルコール測定器が堅調な伸びをみせました。

この結果、当セグメントの売上高は317百万円（同17.9%増）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期はセグメント損失31百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より25百万円増加して14,115百万円となりました。これは主として現金及び預金、たな卸資産が増加した一方、受取手形及び売掛金、流動資産のその他に含まれる未収入金が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より359百万円減少して6,409百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より385百万円増加して7,706百万円となりました。これは主として利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経営環境につきましては、経済対策の効果などを背景に、国内インフラの老朽化対策をはじめ、自然エネルギーを活用したシステムの需要拡大など、国内景気は概ね回復基調で推移することが期待されます。しかしながら、鋼材価格の上昇傾向や人員不足による工事の着工遅れが予測されるなど、先行きに懸念も残しております。

したがって、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、平成25年9月13日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,609	1,508,869
受取手形及び売掛金	3,414,635	3,022,251
たな卸資産	2,419,146	2,608,773
その他	741,259	612,138
貸倒引当金	△6,885	△5,432
流動資産合計	7,760,765	7,746,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,371,805	1,432,550
土地	3,036,607	3,100,336
その他(純額)	537,792	551,358
有形固定資産合計	4,946,205	5,084,245
無形固定資産	100,014	90,939
投資その他の資産	1,282,944	1,193,851
固定資産合計	6,329,164	6,369,036
資産合計	14,089,930	14,115,636
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,061,024	1,243,915
短期借入金	3,446,320	3,012,708
未払法人税等	228,738	135,055
賞与引当金	130,298	140,927
その他	554,625	396,906
流動負債合計	5,421,006	4,929,511
固定負債		
長期借入金	101,342	235,124
退職給付引当金	1,012,651	1,009,132
役員退職慰労引当金	28,657	30,477
その他	205,372	204,952
固定負債合計	1,348,023	1,479,685
負債合計	6,769,030	6,409,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	6,056,145	6,286,287
自己株式	△244,258	△244,258
株主資本合計	7,161,669	7,391,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,164	6,450
為替換算調整勘定	△6,498	106,434
その他の包括利益累計額合計	△10,662	112,885
新株予約権	9,411	21,507
少数株主持分	160,482	180,235
純資産合計	7,320,900	7,706,439
負債純資産合計	14,089,930	14,115,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,814,743	7,779,328
売上原価	4,669,208	5,334,482
売上総利益	2,145,534	2,444,845
販売費及び一般管理費	1,790,722	1,880,464
営業利益	354,812	564,381
営業外収益		
受取利息	4,472	1,865
受取配当金	1,422	1,423
仕入割引	19,913	20,598
投資不動産賃貸料	15,346	15,450
持分法による投資利益	1,751	901
その他	16,843	11,359
営業外収益合計	59,749	51,598
営業外費用		
支払利息	9,859	7,381
売上割引	45,794	52,821
その他	18,653	18,640
営業外費用合計	74,306	78,843
経常利益	340,255	537,136
特別利益		
固定資産売却益	—	272
投資有価証券売却益	—	120
特別利益合計	—	392
特別損失		
固定資産除却損	1,594	6,798
役員退職慰労金	72,162	—
その他	800	—
特別損失合計	74,557	6,798
税金等調整前四半期純利益	265,698	530,730
法人税等	112,736	217,862
少数株主損益調整前四半期純利益	152,961	312,867
少数株主利益	8,557	1,338
四半期純利益	144,404	311,529

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,961	312,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,565	10,618
為替換算調整勘定	19,114	132,551
その他の包括利益合計	13,549	143,169
四半期包括利益	166,511	456,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,366	435,077
少数株主に係る四半期包括利益	11,144	20,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	265,698	530,730
減価償却費	112,259	122,777
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,977	△4,114
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△202,767	1,820
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,618	10,628
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25,042	△761
受取利息及び受取配当金	△5,894	△3,288
支払利息	9,859	7,381
有形固定資産売却損益 (△は益)	23	△272
有形固定資産除却損	565	3,142
売上債権の増減額 (△は増加)	43,435	413,363
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△224,250	△140,466
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,483	178,901
その他	176,655	△51,707
小計	363,622	1,068,135
利息及び配当金の受取額	5,393	3,800
利息の支払額	△9,789	△7,664
法人税等の支払額	△94,027	△300,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,198	764,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△216,618	△91,196
有形固定資産の売却による収入	4	535
貸付けによる支出	△16,080	—
貸付金の回収による収入	20,992	8,467
その他	5,875	23,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,826	△58,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△20,000	△460,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△22,843	△39,830
自己株式の取得による支出	△147	—
配当金の支払額	△71,299	△81,470
少数株主への配当金の支払額	△30	△30
その他	△268	△1,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,589	△382,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,883	20,003
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,333	343,511
現金及び現金同等物の期首残高	1,313,914	1,150,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,269,580	1,494,476

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,401,664	1,170,509	242,569	6,814,743	—	6,814,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,848	2,714	26,631	42,193	△42,193	—
計	5,414,513	1,173,223	269,200	6,856,937	△42,193	6,814,743
セグメント利益又は セグメント損失(△)	364,797	7,539	△31,657	340,679	14,132	354,812

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,975,105	1,547,241	256,981	7,779,328	—	7,779,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,663	1,916	60,345	64,926	△64,926	—
計	5,977,769	1,549,158	317,327	7,844,255	△64,926	7,779,328
セグメント利益	413,243	139,649	2,911	555,804	8,577	564,381

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会決議に基づき、当社株式の流動性向上と投資家層拡大を図るために、次の株式分割を行っております。

1. 株式分割の割合及び時期：平成25年10月1日付をもって平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割する。
2. 分割により増加する株式数 普通株式 2,186,352株
3. 当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報は、それぞれ次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	35.49円	76.55円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	35.45円	76.24円